

第8回丸山・和田地区学校再編検討委員会 会議録

日 時 平成25年 3月26日(火)
午後7時5分から午後8時25分まで
会 場 丸山公民館 2階大会議室
出席委員 丸山地区22名 和田地区23名
欠席委員 工藤委員
傍 聴 人 3名

1. 開会（事務局）

2. 検討委員長挨拶（和田地区・鈴木委員長）

皆さん、こんばんは。年度末の最後の会議となり、この委員会で交代する方もいらっしゃると思います。この一年間、いろいろと皆さんの御努力によりまして、同意を経て、着々と再編の成果が出ていると思います。御協力ありがとうございました。

本日も、小学校の敷地の候補についての検討も議題になっておりますので、よろしく御検討のほどお願いいたします。

3. 教育長挨拶

どうも、こんばんは。年度末の御多用のところ、お集りいただきましてありがとうございます。今、委員長からありましたけれども、年度末ということで新しい年度になりますと、委員の方々、かなりの方が代わられることになるかと思っております。これまでの御審議、御協力いただきまして大変ありがとうございます。年度が替わりましても、この会自体は継続していくことになるかと思っておりますので、またいろんな面で御支援、御協力をいただくと、大変ありがたいと思っております。本日の協議よろしくお願ひ申し上げます。

4. 報告等

始めに、第7回合同会議結果報告と併せまして、会議資料について確認をいたします。次第の4の報告等として、前回の第7回検討委員会の内容について報告をさせていただき、その後に配付資料の確認をさせていただきます。第7回の学校再編検討委員会を平成25年2月18日に行い、この時の出席委員は、丸山地区18名と和田地区21名となっております。議題に入る前に、それぞれの専門部会から検討状況を報告していただきました。通学支援部会では、スクールバスの要望案を引き続き検討していくとの報告です。学用品部会では、制服のアンケート調査を行い、その結果を集計している最中との報告でした。校歌・校章部会では、校歌については、他地区や他市の事例を参考に協議をしていくこと、また校章については、デザインを公募するかたちで検討を進めているとの報告でした。

P T A部会では、両校のP T A会費の残高を合わせることや、また年間行事等のすり合わせを進めているとの報告でした。行事部会とカリキュラム部会では、両校の1年生が、英語と数学の授業を合同で行い、楽しく過ごすことができ、今後もいろいろと考えながら進めていくとの報告でした。次に、議題第1号の「専門部会協議事項について」は、特に案

件がありませんでした。続いて議題の第2号として「統合小学校建設候補地について」検討をしていただきました。再編方針案で、統合の幼稚園園舎と小学校校舎については、南三原小学校区内で検討するという事で承認されておりますので、事務局では、まず当該地区内に建設候補地として検討する5か所を選定し、比較検討を行い、その結果を報告させていただきました。この5か所の中から1か所を選択するに当たり、選択基準として1つ目に、市の防災上の観点から海拔が15m以上の場所であることや、また各地区で行った説明会等でも少しでも海拔の高い場所が望まれていること。2つ目には、徒歩通学者が多いこと。3つ目には、国道からも近く、保育園や幼稚園の送迎なども比較的便利なおことが挙げられます。これらを総合的に勘案し、南三原陸橋の北側、海拔は16.2mから18.3mの場所を、建設候補地として提案をさせていただきます。委員からはいろいろな御意見がありましたけれども、一旦持ち帰って、それぞれ検討していただくこととなっております。報告は以上となりますが、委員の皆様には、前回の会議録を事前に送付させていただきましたので、本日の会議にて御承認をいただき、市のホームページに会議録を掲載したいと考えております。よろしくお願いいたします。

続きまして、配付資料の確認をさせていただきます。

(事前配付資料と前回の会議録及び当日配付資料1から4の確認。)

前回第7回合同会議の会議録を確認いたしました。前回の会議録につきましては、検討委員会で承認されたのち、市のホームページで公表されることとなっております。御質問があれば、御発言をお願いいたします。特にございませんか。特に無いようでございますので、前回の会議録につきましては、公開をしていきたいと考えております。御了承賜りたいと存じます。

事務局 次に、前回の検討委員会で報告された以降の検討状況について、専門部会からの御報告をお願いしたいと存じます。始めに、校歌・校章部会お願いできますでしょうか。

委員 校歌・校章部会ですが、検討状況を報告させていただきます。(仮)嶺南中学校「校章」の作成について、丸山・和田地区小中学生及び一般市民向けの応募用紙(案)を作成しました。併せて、学校校章選考方法(案)を作成いたしました。2番、(仮)嶺南中学校「校歌」作成について、ただいま校歌作成依頼者を選定中でありまして、過去に作曲された白浜小、富浦小、富山小、鴨川市立長狭学園等の校歌を聴いて、どのような校歌を作っていくか方向性を決め、また依頼する方を決めていきたいと思っております。

協議事項について、6月議会にて、校名及び補正予算の可決後、別紙『(仮)嶺南中学校「校章」デザイン応募用紙により、公募してよろしいか』、こちらの方を詳しく御説明申し上げます。(仮)嶺南中学校の校章デザインを公募するにあたり、公募要領(案)を作成しましたので、その内容について協議をお願いいたします。要件のみ、御説明申し上げます。第2条では、募集する校章として、

第1号から第6号までとしてあります。第4条では、募集期間として、平成25年7月1日（月曜日）から平成25年9月2日（月曜日）までとしました。第5条では、周知方法として、チラシ、市の広報紙、市のホームページへ掲載するとともに、新聞等にも掲載を依頼することとしてあります。第6条では、募集方法等について記載してありますが、第1項では、市内在住者、在勤者、在学者又は南房総市に愛着がある者としてしました。これまで、校章等を公募した事例では、南房総市の出身者に限定していたようですが、今回は募集する範囲を広げるために、南房総市に愛着がある者としてあります。しかしながら、愛着がある者の判断は難しいところでありますので、このあたりの表記については、協議をお願いしたいと思います。第4号では、デザインのイメージを100文字以内で紹介して、応募するようにしてあります。第5号では、募集用紙は持参又は郵送とし、電子メールでの応募は不可としてあります。第6号では、募集先として、事務局である教育委員会学校再編推進課としてあります。第7条では、選定方法として、校歌・校章部会にて6点以内に候補を選び、その中から両地区の検討委員において、決定することとしてあります。第8条では、採用品となる最優秀賞に、副賞として図書カード1万円相当を、採用候補となった優秀賞には、副賞として図書カード2千円相当を贈呈することとしてあります。第10条では、採用品等に関する著作権については南房総市に帰属することとしてあります。要領の説明は以上となりますが、周知するチラシについては、一般向けのもの、丸山・和田地区の小中学生向けのもの二通りを用意いたしました。なお、第8号の副賞、図書カードについては予算が必要になりますので、事務局にて、6月議会の補正予算を持って報告することになりました。また、(仮)嶺南中学校の校名については、6月議会に上程するようですので、それらが可決してから報告することとなります。

事務局 次に、学用品部会お願いできますか。

委員 両校の制服をバランスよく取り入れたセーラージャケットタイプをとという意見も多く挙げられていましたが、結果的には、回答の約6割がブレザー襟ありタイプを希望していました。このアンケート結果と要望を、2月26日に両校へお届けしました。平成25年度から両校で検討し、夏までに決定していく予定とのことでした。

事務局 次に、PTA部会お願いします。

委員 3月19日に、今までは中学校の役員、教頭先生だけで案を練ってきたんですが、来年度、役員交代があるかもしれませんので、小学校の役員の方、教頭先生を呼んで引き継ぎを行いました。

事務局 次に通学支援部会お願いいたします。

委員 通学支援部会は、その後、会議が開けませんでしたので進展はありません。

事務局 次に行事部会及びカリキュラム部会一括でお願いします。

委員 25年度から、交流をまた両校で検討しながら進めていくということで、確認しております。

事務局 各専門部会からの報告に対しまして、御質問等がありましたら、御発言をお願いいたします。

委員 学用品部会に質問ですが、アンケートの結果を両校に届けましたということですが、その後、両校の取り組みはどのようになっているのでしょうか。

委員 それぞれの学校で、まず今年度中に話し合い、さらに来年度また、少なくとも変わるとお思いますので、それで話しをこのように開始までに徹底的に打ち出していきたいと思っています。いろいろデザイン等ありますので、いくつかの事業所からはこういうものがあるという提示をされているところです。

委員 和田中も同様でございます。

事務局 よろしいですか。他の方、御意見ございますか。それでは、報告については以上で終わりたいと思います。

これより議事に入ります。設置要綱第7条第1項の定めにより、委員長に議長をお願いいたします。今回は、和田地区、鈴木委員長に議長をお願いいたします。なお、本日、検討委員会に傍聴の申し出がありましたので、傍聴人に入らせていただきますが、委員長、よろしいでしょうか。

委員長 はい、了解します。
(傍聴人入場)

委員長 本日の出席委員数は、丸山地区22人、和田地区23人です。両地区とも、それぞれ過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。それでは、「第1号専門部会協議事項について」を議題といたします。事務局に説明を求めます。

事務局 「第1号 専門部会協議事項について」でございますが、それぞれの専門部会で協議検討を進めている中で、検討委員会としての判断が必要とされる案件がありましたら、各専門部会から発言をお願いしたいと存じます。

委員長 では、「第1号 専門部会協議事項について」ただいま、事務局から報告のとおり、検討委員会で協議検討事項がありましたら、発言をお願いいたします。

委員 校歌・校章部会ですけれども、先ほど、報告等の中でデザイン応募要領（案）を御説明申し上げましたけれども、この案でよろしいか協議いただきたいと思えます。

委員長 (仮)嶺南中学校「校章デザイン」募集要領（案）資料2のこの案でよろしいでしょうかという同意を求められましたが、いかがでしょうか。意見ございませんか。無いようですので、この募集要領（案）で決定してよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 では、この要領（案）で決定いたします。他にございますか。無いようでしたら、次に「第2号 統合小学校建設候補地について」を議題といたします。事務局から何か報告はございますか。

事務局 前回の会議で、保護者の方々が、一旦持ち帰って意見を確認したいという旨の発言がございました。その結果の意見集約状況を発言いただいたらどうかと考えております。

委員長 ただいま、事務局から報告のとおり、前回一旦持ち帰って意見を確認したいとの発言がありましたので、建設候補地等についての発言をお願いいたします。

委員 和田小です。前回会議終了後に、書面にて、前回時点でそういう案が出ますよと父兄の方に報告させていただき、意見が返ってくるかどうか、1週間ばかり時間を取りました。そこで、何名かの父兄から、「E地点はちょっと危険じゃないのかな」という意見が挙がってきました。一部の意見に、「もっと詳しい説明をしてくださいよ」というお話もありましたので、3月5日の6年生を送る会の終了後に、説明会という形で、E地点という件について説明をしました。その席上で、父兄のある方からは「どうしてもE地点については納得がいきません、出来れば和田地区全体で署名運動をしてください」という意見もいただきました。地区説明会とかも過ぎたという形でしたので、署名運動までするのは難しいですよということでお話をしまして、皆さんの意見を挙げていただく形で大至急、簡単なアンケート形式の記名のお手紙を出させていただきました。それをまとめたものを報告させていただきます。まず、対象件数が和田幼小で全部で68家庭ありまして、今回、回収された家庭が63件、92.6%の家庭から回収がありました。その中の内訳としまして、前回、提示されましたE地点につきましては、51件、80.9%の家庭が反対ですという意見が返ってきました。理由を書いていただくという形をとりましたので、その中で圧倒的に多かった点が、高圧線が近くを通っているということで、「高圧線から出る電磁波の影響が非常に心配だ」、また東日本大震災で、東北地方で高圧線が倒壊しているのを記憶にある方が結構いらっちゃって、「万が一倒壊があった場合、学校の近くにあったら大変じゃないか」という意見が41件ありました。じゃあ、それに対して、皆さんどうしますかと聞いたところ、34件の家庭が、本当は、和田小を和田地区に残したいという要望はありますけれど、地域よりも子供たちの安全を一番優先したいので、和田地区に学校は無くなっても仕方無い。それよりも安全な場所ということで、丸山中学校の隣接地に小学校を建設出来ないものかと、ちょうど全家庭に対しての半分からそういう意見が挙がってきました。和田小としましては、いろいろ協議した結果もありますけれど、PTA全体としまして、南三原小学校区を検討するっていう事案を引っ繰り返させてい

ただきまして、丸山中隣接地という提案をさせていただきたいと思います。また、そちらに持っていくという点につきまして、中学校は来年度決定しておりますので、通学バスについても、小学校・中学校、共有のスクールバスを出すことは可能ではないかなという考えも皆さんあるようです。和田小としましては、丸山中隣接地ということで、要望として挙げさせていただきます。

委員長 他に何か父兄の方で、御意見、学校として意見を聞いたところございますか。
委員 南小ですが、前回の会議を基にしまして、各御家族の方に進捗状況を回しまして、意見はありますかという形で回りました。そういったところ、今言われた和田小さんの意見というのは、全く入っていない、あくまでも、前回の会議で決まったことを述べたものですが、4件程回収しまして、「Eの場所がいいよ」というのが2件、あと「Bにならないか」というのが1件、あと「丸山中学の所がやっぱり安全なんでいいよ」というのが出たんですね。その後、このアンケートとは別にPTAの理事会があったので、理事の皆さんに、同じように進捗状況という形でお伝えして、また意見を回収しようとしたんですけど、特に意見が無かったので、今日の結果を改めて持ち帰って審議します。ただ、和田の方から、どんな意見が出てくるのか分からないので、多分、今日の場合また更に話しが進んでいくでしょうということを伝えたところです。
ですので、南小自身が、ほとんどの方がEでいいよというような納得で、答えをいただいたという状態です。

委員長 今、和田小学校と南小学校の方から意見が出ております。これについて、何か御意見ございましたら。

委員 すいません、和田小の委員さんのお話しであったんですけども、父兄の方は基本的に今、そちらに座っている和田地区の方は、丸山中の隣接地止む無しという考え方で構わないんでしょうか。

委員 和田小は、それでまとまっています。

委員 でも、和田小だけじゃなくて、南三原小の方もいらっしゃるじゃないですか。それは、和田小の委員さんの単独なのか、南三原の父兄の方、和田中の父兄の方。

委員 南三原小も、前回の会議の後に、会議報告を配りましたが、特に反応も無く、E地点で良いのではと考えてたんですが、和田小さんの方からお話しがありまして、さすがに全家庭にお知らせすることは出来なかったんですけども、PTAの本部役員と学級の理事さんが集まる会議で話しをしました。やはり高圧線を気にされている方が何人かいらっしゃいまして、和田小さんの意見と同様に、丸山中の隣接地でもいいではないかという意見は出ました。一応、その時に話をしていた和田小さんと一緒に「丸山中でも大丈夫、いいですかね」ということを聞いたならば、本部役員さんと理事さんからは反対意見はありませんでした

ので、和田小さんを応援していけたらなとは思っています。

委員

和田中さんは。

委員

中学については、最近、集まる機会が無かったので、経緯は直接話していません。こちらへ来ている再編委員の4名の中では、中学の隣接地でも、今後の利便性を考えればいい案じゃないのかなってという意見が大半です。個人的に言わせてもらえば、何とか南三原小学区に残したいなという気持ちもあるんですけども、やっぱり一番ここで最後考えないといけないのは、子供たちの安全と、子供たちにとっていい教育環境が実現できる場所であれば、それが一番いいのかなという風に思います。それで、丸山中の方の言い分としても、いいと言うことで。他の候補地がどんどんまた別の形で挙がってくるようであれば、またそちらが望ましいというのであればそちらということもありますけれども。和田小さんの意見も理解出来ると。

委員

それを踏まえたうえで、やっぱり、和田の方の意見を見無視して丸山中の隣接地ということは、丸山の人は言えないって私の立場だったんですけども、もし、和田の方が許していただけるのであれば、やっぱり丸山中の隣にある方が、例えばE地点に建てるとすると道路の幅、歩道の整備、高圧線を避けるのであれば、結局あそこは丸山の地に建てなければ高圧線は避けられないですよ。だから、南三原小学区ということも実現できないと思うんですよ。であれば、ある程度道路環境も整備されている丸山中の隣の方が、スクールバスにしても、同じ所に到着するのであれば、初めから混乗出来るんじゃないかということも考えられますし、先生の小学校・中学校、一般の教育ということまで考えれば、隣接にあるのが一番理想だと思います。ただそれは父兄の方の意見を今、聞いたから話ただけで、今後、どう決まっていくか分からないので、当然、子供を思うってことを考えれば、こっちの方がいいんじゃないかと考えます。

委員

私はE案に賛成します。南三原地区、学校がたくさんありますけども、小学校・中学校が閉校になります。話しが逸れるかもしれませんが、私の考えとしては、小学校、学校関係イコール防災の拠点と考えてしまう。震災当日、南三原地区4分団の分団長をやっておりました。小学校が避難所になっておまして、約100名近くの高齢者、また民生委員の方に、たくさんの方を避難所まで連れて来ていただきました。なかなか、市・消防本部とも連絡がつかず、私の判断でいろいろやりました。

近年ですけども、拓心高校が防災観点でちょっと怪しくなっており、昼間は対処できるが、夜間は対処できなくなっておりますので、学校の話とはちょっと違いますけども、防災の必要として、南三原に是非学校をお願いしたいと思います。南三原地区には老人施設も複数ありますので、みなさんの御理解を

得て、E地点、もしくはその三つの円の中間でもかまいませんので、拠点のひとつをお願いしたいと思います。

委員長 今、PTAからは、「丸山中学校の隣接地に」という意見と、「南三原小学校区に防災の拠点として小学校があった方がいい」という意見が出ております。他に何か御意見ございますか。今までの御意見とはまた違った意見に向いてきておりますので、何かこれについて、他に委員の方、御発言ありませんか。

委員 E地点がいけないというのは、高圧線があるからということで、それがもし、きちっとした説明があつて、問題無いとなればそれはE地点でもいいということになるんでしょうかね。

委員 今、高圧線の話が出ましたけども、少数意見で書いてあるものの中には、今、田んぼに使っている土地でありますから、地盤の関係でもしかしたら液状化の可能性が考えられますという点が一つと、あと、今の候補地を、多数の父兄の方に見に行っていて、その時点で指摘されたのが、牛糞を乾燥させる堆肥舎がすぐそばに建っているという点でその衛生上の面を指摘される方が何人かいらしゃいました。高圧線以外にはその2点の指摘がありました。

委員長 高圧線については、教育委員会のほうで何か御意見ありますか。

委員 マップを作ったこのABCDEで、液状化現象とかね、高圧電線ですか、そういうの承知でこういうの作ったんですかね。知らないで作ったんですかね。

事務局 高圧電線についてなんですけども、E地点を選定するにあたって、東京電力の方にはそういった問題について、どうかという問い合わせはしてございます。東京電力は、基本的にはあの位置であれば全く問題がないということでした。ただ具体的にE地点ということで話しが進んだ場合には、もう少し詳細な調査をする段取りになっております。また液状化については、建設が決まった場合には、ボーリング調査等を行いまして、必要な杭を打つことになっております。

委員 じゃあ、ボーリングが駄目であればね、また変更するわけ。

委員 いや、だから移動はしないはずです。何メートル掘ろうと接地地盤には届くので、金をいくらでも積むのであれば、そこには建ちます。

委員 まあ、予算の関係もあるんでしょ。

事務局 そうですね。ボーリング調査をして、岩盤に到達するまで杭を打つということになりますので、18mで岩盤に到達すれば、そこに杭を打つこととなりますし、例えば八束の方では25mの杭を打っているところもありますので、それはそのボーリング調査の結果によって杭の長さが変わってきます。

委員 高圧電線から何メートル離れたら問題無いの。

事務局 東京電力の話ですと、例えば、高圧電線から一番低い陸橋を過ぎたところが一番垂れ下がっていて地上に近く、地上との距離が12mでして、その、地面から1mのところまで測定した場合、東京電力の方では、全く問題ないとい

う話しでした。例えば、家電製品、ドライヤーやパソコン、そういった物に接しているよりも、まだ低いとのお話しをいただいています。自動車に乗っていて、ラジオを付けていた方が高いとか、そういうお話しも伺っています。ただ、詳細なデータは数値としていただいておりますので、建設候補地として決定した場合には、調査も必要と考えています。

委員 鉄塔を移すことはできないんでしょ、当然。

事務局 鉄塔をですか。鉄塔の倒壊とかそういう部分についても、それはちょっと判断出来ません。

委員 今の話だと、まあ、そんな問題ないみたい。

事務局 東京電力の話しでは。ただ、地区説明会でも東京電力の話しを鵜呑みにしないようにと御話しをいただいておりますので、その辺はしっかり調査をしていきたいと思っています。

委員 漠然と言われてもね、またPTAのこっちへ漠然と丸付けたけど、どっからどうこうしてるかははっきり分からないもんね。この地図はね。

委員 液状化っていう危険性はあるの。今考えているE地点では。

事務局 千葉県がハザードマップを作っています。そのデータでいきますと、海岸線、フラワーライン海沿い、あの辺は若干ですが、液状化があるというような色分けにはなっていますが、国道まで入ってくればそういう危険性は無いというような、ハザードマップになっています。

委員 液状化の話が出ましたけれども、3. 11の時に、田んぼの配管が3か所破断しました。破断したところは、E地点から、温石川の流域の3km位離れた所なんですけど、前から非常に地盤の悪い所と言われており、このパイプラインの破断と併せて、平成12年頃施工した非常に大きなコンクリートブロックで出来ている排水路も砂を吹いて、かなり波打った状態になりました。私も興味を持って県内の液状化マップなんかもネットで見てみたんですけども、そういうものには全く、この辺は出ていないんですね。ですが、そういう現実がありますので、このE地点の辺りだと、大きく液状化することは無いとは思いますが、可能性としてはちょっと不安なところです。

委員長 ありがとうございます。

委員 今の話でいうと、教育委員会の方でそこまで周りの状況を調べていないという中での今の意見ですよね。全てがなるとは思わないんだけど、今、言うように、液状化になった時、迎えとか、道路網が寸断されるということは、一番危険だし、大きな国道沿いなら復旧は早いでしょうけど、国道で無い場合は復旧は遅れるという面が出たりするんで、地殻の問題が出てきたりすると大変だということ。あと、高圧線の下、通常送電線はね、高圧線の下は全て地下に潜らせているんですよ。何らかの影響があるのか知らないけど。安馬谷2か

所あるんだけど、2か所とも地下を潜らせてるんだよ。だから何らかの電気関係で問題があるんだろうなと感じてみているので、今、言われたように電磁波の絡み、ゼロじゃないと思う。

委員 その、パイプラインの件はね、南三原でもね、水漏れとかパイプが外れたとかあるんですよ。これは、業者名言わないけど、土地改良で追及したんですけどね。凄いですよ、修理。参考としてね。

委員 ABCDEと案が出たのは、私はこれで最終案で、このいずれかに決めると。ここでいろいろな意見が出て、他の場所へという可能性としてはあるんでしょうか。この、ABCDEの中で決めざるを得ないんじゃないかなと。また今、いろいろありましたけども、それらを踏まえてのABCDE案ではなかったのかなと私は思っています。

教育長 この会議で何度か申し上げてきましたけど、南三原地区で検討するというかたちで、小学校については提案いたしました。理由としましては、何回かこの会議でお話ししましたが、中学校が丸山地区だから、小学校は和田地区ということを中心に、理由はそれだけだと言うのはお話しいたしました。その条件の中でABCDEの5地点の検討をして、全て高圧線の線上にあるという致し方ない状況の中で、E地点ということで前回提案いたしました。で、今日、お話しを伺いまして、私ども提案した観点とは全く違う観点で御意見をいただいております。例えば、和田小学校の方からは「地域性よりも子供たちの安全を」というようなお話が、和田中学校からは「今後の利便性を考える」とか、あるいは、「子供たちにとっていい環境を考えるのが」、こんな様なお話しをいただいております。私どもは、そういう観点が無かったわけではありませんけど、ただ一点の理由としては、地域性ということで提案いたしました。皆さん方が今後話し合っていく中で、地域性よりも子供たちにとっての環境だというような観点が話し合いがされていくのなら、私どもとすれば、受け止めていかなければいけないというふうには考えております。ですから、皆さん方が、この協議を進めていく中で、私どもの提案いたしました内容でいくのか、あるいは、私どもが基本に考えた地域の人たちの思いを大事にしていくということじゃなくて、もっと大事なものがあるということでお話ししていただくなら、それはそれで協議をしていただければと思っております。今の私どもの立場としては、このような思いです。

委員長 今、教育長から、5案の他に、子供の安全を考えた上で、ここがいいというなら、ここに変更してもという意見だと思います。

委員 和田中ですが、会長は先ほどの意見なんですけど、和田小さんの意見というのは、「E地点で」ということで提案がありましたので、でしたらということ、中学校の脇にお願いしたいということだったと思うんです。例えば、こ

れがEではなくCだったとしたら、そういう話は出なかったと私は思います。E地点ということで、中学のすぐそばですし、丸山ですよ。委員さんがさっきおっしゃったことは、私は一番やっぱあるんです。地域の拠点として活用しなければならない学校なので、強く和田地区の建築を願っていましたが、E地点ということでしたので、E地点であるならば併設されていた方が絶対良いと思ったので、和田小さんの案に賛成しました。この間、拓心高校で、中学校と高校の防災の連携の行事があって、民生委員さんかどなたかのお話を伺ったんですけど、震災の時に、声をかけに行ったら、「私は足が悪くて拓心高校の階段が登れないから、もう逃げなくたって津波にのまれちまえばいい」っておっしゃったお家がたくさんあったと伺いました。私も拓心高校に逃げれば、和田中がダメでも大丈夫かなと思ったんだけど、確かに拓心高校にはエレベーターも無いし、そういう人たちが来ても、子供たちが運べばいいっておっしゃいましたけど、子供たちだって、無我夢中で自分が逃げちゃったらそんなお年寄りのことまで考えられるのかなとか、すごい不安に思ったんです。例えば、中学校の隣に校舎を持っていくんだとしたら、南三原地区、和田地区さんの避難が出来るような体制をとるといえるのか、和田中学校の校舎に電源装置を上につけてエレベーターを付け、とりあえず上に逃げられるようにするとか、北三原にも多目的施設というつぶされそうな公民館があるんですけど、そういう所を利用して、もうちょっと避難出来るよう活用するとか、考えればどうにかなるんじゃないかなと思うんです。なので、私たちはE地点だったら、併設がいいというふうにお願いをしました。もし、それがCだとかDだとかに動くんだしたら、この話しが違おうと思うのでよろしくお願いします。

委員長 今、E地点と特定した上での、丸山中学校の隣接地に傾いたというようなことでした。和田中さんの意見というのは、すごく和田地区としては貴重な意見だと思いますけども、皆さんはどう思いますか。

委員 先ほども言いましたけども、南三原に住む者としては、E地点がベストだと思います。16m以上の高位置、E地点じゃなくても、もうちょっと大きくA、B、Eこの大きい円で考えて話し合ってみたらどうでしょうか。

委員 多分なかなか進まないと思うので、私も、先ほどの和田中の委員さんの意見に賛成です。もし、CとかDであれば、私も和田の方はそれが一番いいと思うと思っています。ただ、このCとかDの位置だと、先生が中学と交流するというのはすごく難しくなると思うんですね。これから生徒が減ると与えられる先生も減り、小学校でも中学校でも授業をやらなければいけないということが、起こりうる可能性はありますよね。その時に、やっぱり小学校と中学校が近い方が、先生は何かと便利だと思います。であれば、私はCの地点に全く新しい和田の方の集まれる場所を新たに造っていただくっていうかたちをとっても、

丸山中に隣接というかたちをとるのがベストな選択なんじゃないのかなと思います。本当に、自分たちが避難する場所が無いというのは困ると思うんですね。それで、沖見屋さんの所から上に登って行く道っていうのが、多分、一番避難しやすいんじゃないのかなと、E地点より多分そっちの方がいいんじゃないのかなと思います。そこも、なるべく一番高い所ですよ。そういう所にそういう施設を造ってもらうとか、学校自体は、隣接に造ってしまった方がいいんじゃないのかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

委員長 他に御意見ございませんか。

委員 白羽として、B・Eを比べた場合に、何でEを第一候補というか、強かに推したんでしょうかね。大して変わらない、高さからいっても変わらない。

事務局 先ほど説明の中で海拔でも15m以上、そして徒歩通学者が多い、後は国道から近いというようなことの3点を大きく考えたということで、E地点と前回は説明したかと思えます。

委員 とりあえず、電線の問題なんて考えてもいなかったから。ですけど、それで大して変わらないと言ったらおかしいんですが、Bで何で駄目なんかになって思うものですからね。

委員 川からの距離はかなり近くなりますよね。

委員 川からですか。

委員 結局津波というのは、川を上がってきますからね。

委員 B地点の一番上のところは川からどれくらい。

委員 それで言ったら、丸山中学校だって。

委員 もちろん、でも絶対的な高さが29mというのは。

委員長 どうでしょうかね。このままだと、意見集約が必要な気がしますので、もう一度改めて検討するということがいいかと思うんですがいかがでしょうか。

委員 賛成

委員 この会の方向としては、皆さん御承知のように「和田地区に小学校を」、「丸山地区に中学校を」と示してきたんですよ。いろいろ、いや、丸山中の隣接地のほうがいいよ、でもあえて、和田地区に学校をというようなことで合意した訳だから、それが簡単に白紙に戻っていいのかということですよ。その上で、いや、いいんだよっていうことであれば、もう一度、じゃあ、もっと広く考えてということになりますね。安全とかいろんな条件を考えて、例えば、いろんな場所を指定するとして、その場所はいろいろやってみたら、いろんな条件で駄目だったというなら、これは、あり得ることです。ただ、私はここで合意し、和田にしたっていうのはね、そこを結局、和田地区の皆さんが、いいよって言ってくださればね、じゃあ、もう一度ってなると思えます。そのところは我々の丸山の方からはね、嫌味で言えないですね。だから、そのとこ

ろをはっきりさせれば、今、委員長が言ったように、じゃあ、もう一回検討しようかということになると思うんです。そこが曖昧だと、どうなのかなってちょっと思っちゃうんですね。そこらへんの、御意見を伺いたいなと思います。

教育長

さっきの補足というか前提として、言葉が足りなかったんですけど、和田地区ということで、和田小学校区で検討しなかった訳ではないということです。和田小学校区では、それだけの敷地が検討出来ないということで、和田地区の南三原小学校区で検討すると。この前お話ししましたように、E地点だけで提案しようかなと思いましたが、私どものいろいろ検討した結果が分かるように、ABCDEの5地区で検討しました。先ほどC地区が出ましたけど、そのC地区につきしては、高压線が同じような位置にありますし、15m以上ということを考えておりますので、かなり盛り土をしなくちゃいけない状況にあるということで、最終的な結論として、E地点で提案いたしました。ですから、その辺のところを踏まえて、もちろんABCDE同格で、私どもは考えている訳ではなく、私どもの検討の結果として、E地点ですということ、もう一回御理解いただければと思います。それと、委員さんの方で御心配なさっている防災の拠点ということですけど、これも大事なことだと思っています。ただ、広域の避難場所とは、大きな災害があったときに3日以上あるいは1週間そこで寝泊り出来るような場所を考えており、今、お話しが出ているのは、とりあえずの一時避難場所ということだと思うんです。学校の建設あるいは学校の位置とは関係なく、それぞれの地区で緊急避難的、一時的に避難するような場所を確保していくことは、市の課題だと思っておりますので、学校建設とは違った観点で考えなくちゃいけないということは御理解いただければと思います。

委員

副会長さんが言ったみたいにE地点よりましで、だったら丸山中学校の隣接地って考えたのであれば、他の地区だったらそっちに賛成する可能性が多いんですか、どうなんですか。

委員

本来は、どうしても和田地区に残したいという気持ちは皆さん一番根っこにあります。今回提示されたのは、E地点ということでありまして、通常からいくとほとんど和田ではなく丸山っていう場所ってのがやっぱり気にかかっています。中学校が、来年、丸山中と合併していますので、それを踏まえてっていう考え方をしていってほしいですね。

委員長

いろいろな御意見が出ましたが、建設候補地については、もう少し意見集約が必要であると考えますので、次回この件について検討したいと思います。そういうことで、よろしいでしょうか。

委員

はい（異議なし）

委員長

では、「第2号 統合小学校建設候補地について」は、次回、もう一度検討するということにいたします。次に「第3号 次回合同会議の日程について」を

議題といたします。事務局から何か報告はございますか。

事務局 「第3号 次回の合同会議の日程について」でございますが、年度末でございます。それぞれの団体で、役員改選等があるものと考えますので、出来ましたら、5月の下旬から6月の中旬ということで予定をしたいと考えております。いかがでしょうか。

委員長 ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の方々から質疑ございますか。今の事務局からの報告で異議はございませんか。

委員 異議なし

委員長 ありがとうございます。では、第3号 次回会議の日程については承認されました。本日の議事が終了しましたので、傍聴人は退席をお願いいたします。
(傍聴人退席)

委員長 その他についてですが、事務局からの連絡事項がありましたらお願いします。

事務局 平成25年度の1年間というものは、統合中学校のスタートに向けた大変重要な1年となります。事務局からのお願いなのですが、通学支援、校歌校章、PTAの3つの専門部会についても、早めに進めていかなければなりません。検討委員と、専門部会員の推薦を併せまして、4月末までに選考していただきたいと前回の会議でお願いをしたところでございます。つきましては、専門部会の打ち合わせ会を5月のゴールデンウィーク明け頃に専門部会員の候補者、予定者の方々を招集して、今後の専門部会の予定や、役職員の相談を事前に進めていきたいと考えておりますので御理解をいただきたいと存じます。それと、もう一点ほど報告させていただきます。和田地区の学識経験委員であります委員より、一身上の都合により、本日を以って委員を辞退したい旨の届け出が提出されております。教育委員会といたしましては、受理をさせていただきましたので報告をさせていただきます。ここで、委員の方から御挨拶いただければと思います。

委員 和田地区の学校再編会議から、前回の合同の会議まで、出席させていただきまして、中学校の統合、そして小学校の話しが出て、まだ全部済んでない状況ではございますが、事態に変化が起きたので、本当に申し訳ありませんが、今回を以って辞任させていただきたいと思っております。どうも、今までありがとうございました。

事務局 その他の報告については以上になります。検討委員の皆さんから何かございますでしょうか。それでは、検討委員会で、様々な案件について協議検討していただいております。各種団体の会議等で報告していただければと存じます。以上をもちまして、第8回 丸山地区・和田地区学校再編検討委員会合同会議を閉会いたします。ありがとうございました。

(閉会)